

宇治市
2014年度予算

子どもの通院医療費 小学校卒業まで無料に

子ども医療費助成

市民の運動と議会論戦で前進

子どもの医療費無料化（200円を超える医療費を助成する制度）が、今年9月から小学校卒業までに拡充され、入院も通院も無料になることになりました。

宇治市の子ども医療費無料化は、京都府南部で一番遅れており、新日本婦人の会など多くの市民が、「せめて他市なみに拡充を」と求めてねばり強く運動してきました。党議員団も、これまで拡充のための条例提案を行ってきました。

したが、そのたびに自民・民主・公明などが反対しました。

「医療費助成の拡充を」という市民からの請願に対して、自民党議員は「市単独で助成を拡大した場合、さらに多くの財源が必要になる」と反対しました。

昨年12月議会で、党議員が「年間予算の0・1%程度の6500万円で実現できる」と拡充を求めたところでは。



給食食器

アルマイト製食器から改善へ

宇治の小学校では、旧式のアルマイト製食器を使っている学校が8校残されていました。現場の先生方や保護者から、アルマイト食器は熱いものを入れると食器も熱くなって持てないし、見た目も悪いなど改善を求める声が出ており、党議員団も改善を要求してきました。教育委員会は、「給食調理を民間委託し、浮いた費用で、食器の改善やランチルームをつくる」としてきましたが、以来12年が経つのに、いまだにランチルームのない学校や旧式食器の学校が残っています。

来年度からは新しくPEN食器（ポリエチレンナフタレード）の導入が発表されました。教育委員会は、PEN食器は軽くて割れない、保温性もあると説明しています。2014年度はまず6校分の予算が提案されています。

党議員の一般質問予定

2月26日（水）

● 宮本繁夫 議員（代表質問）

- (1) 市長の政治姿勢について
- (2) 宇治市の将来設計について
- (3) 高すぎる国保料を引き下げることについて
- (4) 集会所再生プランは撤回すべき
- (5) バス路線廃止地域への「新制度」について
- (6) 安心安全のまちづくりについて
- (7) 市長のマニフェストについて

2月28日（金）

● 木澤浩子 議員

- (1) 子どもたちの安全について
- (2) 路上喫煙について
- (3) J R奈良線複線化事業にともなう踏切について

3月3日（月）

● 水谷修 議員

- (1) 市民の暮らしの実情と活性化について
- (2) 陀羅谷産業廃棄物処理場について
- (3) 天ヶ瀬ダム再開発工事土壌汚染について

● 坂本優子 議員

- (1) 学校施設改善について
- (2) 宇治公民館・市民会館について
- (3) ふれあいセンターの建替えについて

*質問項目の詳細は、議員団ホームページ（JCP宇治）をご覧ください。

日本共産党宇治市議員団
議員団だより

2013年2月

TEL 0774-22-3141(内線2814)

FAX 0774-24-7884

メール jcpuji@eto.eonet.ne.jp